

選手90人が熱戦

市民卓球大会

紋別市教育委員会主催、紋別卓球協会（馬場正俊会長）主管の第28回紋別市民卓球大会が12月11日、スポーツセンターで開かれました。小学生から一般までシングルスに93人、ダブルスに34組がエントリー。優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

▽小学生男子シングルスⅡ 越野広也くん（紋別小）▽小学生女子シングルスⅡ 犬伏志保さん（上渚滑小）▽中学生男子シングルスⅡ 泉航平くん（渚滑中）▽中学生女子シングルスⅡ 淵澤仁菜さん（紋別中）▽一般男子シングルスⅡ 庄司克也さん（日向太郎）▽一般女子シングルスⅡ 八木舞



▲小学生から一般までが熱戦を展開しました

子さん（紋別北）▽一般男子ダブルスⅡ 金堂一生さん・庄司克也さん（日向太郎）▽一般女子ダブルスⅡ 八木舞子さん・秋島ちなみさん（紋別北）

紋別の魅力、再発見

紋北商業科が観光プラン

紋別北高商業科の3年生は、今年9月からの「課題研究」の授業で「冬の紋別観光プラン」の作成に挑戦しまし

た。その成果のプレゼンテーションが12月15日に同校視聴覚室で行われ、新雪とたわむれる企画「新雪踏み踏み」な

ど高校生らしい斬新なアイデアが散りばめられた10のプランが発表されました。

「冬の紋別観光」は担任の上田真砂美教諭のアイデア。「いずれ紋別を離れる生徒たちに、紋別のことをもっと知ってもらい、それぞれの地で紋別の宣伝マンになってほしい」との願いを込めたそうです。

生徒たちはインターネットなどを使い、観光協会や様々な観光・宿泊施設の情報を収集。豊かな自然や新鮮な食材の魅力盛り込んだ「紋別ガリンコツアール」などの魅力的

「紋別市政に役立てて」

紋別板金組合より寄附

紋別板金組合の梶沼智司組合長と茂泉満幹事、鷺見一利会計の3人が12月16日、市役所に宮川市長を訪ね、紋別市に6万円を寄附しました。梶沼組合長が「市政に役立ててください」と手渡すと宮川市長は「大切に使用させていただきます」と謝辞を述べました。

寄附は昨年が続いて2回目。寄附金を手渡したあと懇談となり、板金事業を取り巻く環境などが話題になりました。



▲パソコンとプロジェクターを駆使して発表されました

た。特に「新雪踏み踏み」は「具体的な体験観光で、本州以南の人にとっては新鮮な企画」と、招待された観光・旅行関係者をも唸らせていました。

発表を終えてクラス委員長の小田桐愛未さんは「仲間との協力や、知識を得ることの大切さも学ぶことができ、思った以上のものを作ることができました」などと満足そうに挨拶していました。



▲組合幹部が宮川市長に寄附金を手渡しました

となったものです。